

鉄鋼標準試料委員会ニュース

No. 61

I 鉄鋼標準試料委員会年間活動報告—1989年—

1. 会議開催状況（常任委員会）

開催日	出席者
'89. 2.23	佐伯委員長他 19名（経団連会館ラウンジ梅）
'89. 5.31	佐伯委員長他 20名（経団連会館 1106号）
'89. 9. 7	佐伯委員長他 20名（経団連会館 903号）
'89.11.29	佐伯委員長他 19名（経団連会館 1105号）

2. 日本鉄鋼標準試料（JSS）の製造状況

2.1 更新品

化学用	11品種	
(1)高純度鉄	高純度鉄 2種	002-3
(2)鉄鉄	鋳物用 1種 1号B	111-11
(3)低合金鋼	低合金鋼	150-11, 152-11, 154-11, 155-11
(4)専用鋼	炭素	200-10
	硫黄	240-11, 245-3
(5)耐熱超合金	耐熱超合金 NCF2	680-3
	〃 NCF1	683-2

機器用	1シリーズ（6品種）
肌焼鋼シリーズ A	512-6~517-6

2.2 分析依頼中

化学用		
(1)低合金鋼	低合金鋼	151-11, 153-9
(2)専用鋼	炭素	208-1
(3)ステンレス鋼	SUS309S	653-10, SUS310S 654-5
(4)鉄鉱石	ハマスレー鉄鉱石	803-5, タハロア砂鉄 831-1
(5)管理試料	ガス分析	GS-5b

3. 特記事項

- 3.1 鋼の誘導結合プラズマ発光分光分析方法（JIS G 1258-1989）の制定，発行に伴い同方法を JSS の認証値（Certified Value）の決定分析方法として，適用してもよいことを検討して承認した。しかし，適用に当たっての注意事項や適用分析所の制限を遵守することにした。
- 3.2 板状高純度鉄標準試料の製造について，東北大学金属材料研究所のご協力を得て検討を開始した。また，分析参加各所における高純度鉄中の不純物元素定量方法を取りまとめて技術集を作成することにして調査を開始した。
- 3.3 当委員会の事業内容の効率化を図るため，前年度に引続き次の事項について検討して成果をあげた。
 - (1) JSS の頒布システムを変更し，保管管理及び発送業務を（株）日本サンプルプラントに外注化した。
 - (2) JSS の製造及び頒布にかかわる費用を再度吟味して素材費及び調製費は実態に見合った費用として支払うことにした。その結果頒布価格は 1 換算本数（化学分析用及びガス分析管理用は 1，機器分析用は 10 として計算する）当たり，平均約 1,000 円の値上げが必至となり，次のⅡに掲載のように平成 2 年 4 月 1 日から頒布価格を改訂することにした。（改訂価格については，平成 2 年 2 月開催の本会議にて決定予定）
 - (3) 委員会は，本委員会と常任委員会とで構成し，時宜を得た「懇談会」（官公庁，大学，ユーザー代表，商社を招待）を開催して情報収集と PR を行うことにする。
 - (4) JSS の品種の見直し（とくに合金鋼の重複）を行って単純化することにし，基本的な線が固まった。
 - (5) 認証値決定分析に参加する分析所には，認定書（仮称）を交付することにした。
- 3.4 JSS の国際化対応について以下の調査を行った。
 - 1) 標準物質国際シンポジウムへ参加し，高純度鉄標準試料の製造方法について発表した（於北京，5 月）。
 - 2) ISO/TC17/SC/1（鉄鋼分析）の共同実験に使用された JSS について認証値と共同実験値との関係を調査した。

3) 次の各国の標準試料を調査した。

- 中国鉄鋼標準試料 (於北京, 5月)。
- フランス鑄鉄・高純度鉄標準試料 (於パリ, 9月)。
- スウェーデン鉄鋼標準試料 (於ストックホルム, 9月)。
- アメリカ鉄鋼標準試料 (於ワシントン, 10月)。

II 鉄鋼標準試料価格改訂 (円)

1. 化学用

品 種	現行価格	改訂価格	品 種	現行価格	改訂価格
高純度鉄 1種	13,000	据 置	フェロマンガ	7,500	8,000
〃 2種	40,000	〃	シリコマンガ	7,500	8,000
〃 3種	20,000	〃	フェロシリコ	6,500	8,000
純酸化鉄	6,000	7,000	高炭素フェロクロム	10,500	据 置
炭素鋼	8,500	10,000	フェロモリブデン	10,500	〃
銑 鉄	8,000	9,500	フェロバナジウム	10,500	〃
低合金鋼	85,000	10,000	フェロニオブ	10,500	〃
微量元素B	13,000	据 置	フェロニッケル	10,500	〃
専用鋼 炭素	7,000	8,000	インド赤鉄鉱	8,500	9,000
〃 りん	7,000	据 置	ハマスレー 〃	8,500	9,000
〃 硫黄	7,000	8,000	イスコール 〃	8,500	9,000
〃 けい素	7,000	据 置	MBR 〃	8,500	9,000
〃 アルミ	7,000	〃	茂山磁鉄鉱	8,500	9,000
〃 ほう素	7,000	〃	アルガロボ赤磁鉄	8,500	9,000
〃 窒素	7,000	8,000	ペルー磁鉄鉱	8,500	9,000
強靱鋼 A	6,500	据 置	ローブリバー褐鉄鉱	7,000	7,500
〃 B	8,500	〃	フィリピン砂鉄	8,500	9,000
肌焼鋼	8,500	9,000	マルコナベレット	8,500	9,000
鉛削鋼	9,000	据 置	焼結鉄	8,500	9,000
工具鋼	8,500	10,000	サベージリバー	8,500	9,000
高速度鋼	12,000	13,000	マンガ鉄石	6,000	7,000
ステンレス鋼	10,500	12,000	クロム鉄石	6,000	7,000
耐熱超合金鋼	13,000	14,000	ほたる石	7,000	据 置
高炉スラグ	7,000	据 置			
ガス管理試料	6,000	7,000			

2. 機器用

品 種	現行価格	改訂価格
低合金鋼・標準化・微量元素C・炭素鋼・ 肌焼鋼・工具鋼・高速度鋼・ステンレス鋼	65,000	80,000
微量元素B	100,000	120,000

第 21 回結晶成長国内会議 (NCCG-21)

1. 主 催: 日本結晶成長学会
2. 協 賛: 日本鉄鋼協会
3. 日 時: 平成2年8月27日(月)~29日(水)
4. 場 所: 名古屋大学工学部
(または名古屋市中小企業振興会館)
5. 申込締切: 平成2年5月12日(土)

6. 予稿原稿締切: 平成2年6月2日(土)必着
7. 問合せ・申込先:
名古屋大学工学部電子工学科 赤崎 勇
〒464 名古屋市千種区不老町
TEL 052-781-5111 (内線 3628)
FAX 052-782-9145